

第5回低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ概要

日時：平成23年11月28日（月） 19:00～21:00

場所：内閣府本府仮設庁舎講堂

出席者：

（有識者）神谷研二氏、近藤駿介氏、酒井一夫氏、佐々木康人氏、代谷誠治氏、長瀧重信氏（共同主査）、丹羽太貴氏、前川和彦氏（共同主査）、クリストファー・クレメント（Christopher H Clement）氏、ジャック・ロシャール（Jacques Lochard）氏

[五十音、アルファベット順]

（政府側）細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣、中塚内閣府副大臣、佐々木内閣官房副長官補、菅原原子力被災者生活支援チーム事務局長補佐、鷺坂環境省水・大気環境局長、安田内閣審議官、伊藤内閣審議官、矢島内閣審議官

議事：低線量被ばくに関する国際的なポリシー、日本の取組への評価

1. クリストファー・クレメント国際放射線防護委員会（ICRP）科学事務局長より、「International Commission on Radiological Protection（国際放射線防護委員会）」、「ICRP recommendations on post-accident radiological protection（事故後の放射線防護についてのICRP勧告）」及び「ICRP and actions taken in Japan（ICRPと日本の取組）」等について説明。

◆上記について質疑応答

2. ジャック・ロシャール国際放射線防護委員会（ICRP）主委員会委員より、「Some lessons from the Chernobyl accident（チェルノブイリ事故からのいくつかの教訓）」、「Two illustrations of stakeholder engagement for improving living conditions（生活環境改善に向けたステークホルダー関与の2つの事例）」、「Proposals on the way forward for Fukushima（福島に向けた提案）」について説明。

◆上記について質疑応答

以上